

学校法人同志舎 リハビリテーションカレッジ島根 自己評価報告書

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	本校の求める人材および育成する人材像については、アドミッションポリシー、ディプロマポリシーにて定めている。ディプロマポリシーでは「地域の発展に努める」学生の育成に力を入れており、学生が地域に出る機会を増やしている。作業療法学科のカリキュラムである「作業療法専門学」では、地域住民とともに、地域課題の発見から解決策の提案まで、学生が主体になって取り組んでいる。 (教務部長：青木 耕)
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3	
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3	

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	各種の規程および計画(単年度・中長期)に基づいた学校運営を行っている。 また、理事会は毎月開催し、情報の共有化と意思の疎通を図っている。 情報システム化については、予算的な側面も考えながら、システム担当を中心に業務の効率化に取り組んでいる。 (事務局長：斎藤智和)
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	
2-7-1	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4	

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・講義や試験に関しては学生のニーズも取り入れながら適切に実施している。近年はこれまで試験期間に全て実施していたテストを数科目ずつ前倒しして分散させ、試験期間の負担を軽減させている。 ・教育到達レベルに関しては、学生間の学力差も大きく、高いレベルで揃えることはできていない。 ・実習に関しては、実習指導者の要件が厳格化されたこともあり、実習地の確保が以前より難しくなっている。さらに留学生の実習受け入れ施設の確保が喫緊の課題となっている。これらを理由に実習地の確保が遅れが生じている。 ・成績評価・終了認定についての基準は明確化されているが、イレギュラーなパターンも多く、毎年試行錯誤しながら認定を行っている。教員と学生の双方が納得する形の着地点をみつけない。 ・国家試験の指導については、毎年合格率100%を目指して指導を行っている。令和4年度に関しては理学療法学科94.9%、作業療法学科100%、言語聴覚学科が64.4%の成績であった。理学療法、作業療法については全国平均を上回る好成績を残せたが、言語聴覚学科については全国平均を下回る成績であった。難易度の高い国家試験ではあるが、3年連続を含めて8年で5回の100%合格を達成した過去を考えると不本意な成績となった。原因を徹底的に分析し、適切に対策を行い、全学科100%合格を達成したい。 ・授業については学生からの授業評価を実施し、以後の授業に反映させている。しかし、教員間での研究授業等は実施しておらず、教員の資質向上に向けた取り組みに関しては十分とは言えない。今後は研究授業を取り入れ、授業スキルの向上を図りたい。また教員の研究活動を奨励し、学会発表や論文発表など学術的な活動も活発に行いたい。 (教務部長：青木 耕)
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	3	
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	3	
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	3	
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	3	
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	3	

4) 項目4：学修成果

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	<p>就職状況は年々厳しくなっており、就職支援室の整備、支援体制の組織化、求人情報が学生に迅速に伝わるシステムの構築等、就職支援体制の充実に取り組んだ。</p> <p>また、就職活動の開始時期も以前より早くなっており、3年次からの意識づけや病院見学等を指導している。(教務部長：青木 耕)</p>
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	3	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	2	

5) 項目5：学生支援

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	<p>・休退学者の発生については全国の専門学校でも大きな課題となっており、本校も同様である。入学時から困難が予測されるケースもあるが、急に退学的意思を伝えてくるケースも少なくなく、日頃のコミュニケーションの重要性を感じる。1年生で休退学が発生することが多く、特に1年生前期での対応が重要となる。そのため、1年生担任にはベテランの教員を配置し、また複数教員での対応を行っている。</p> <p>・学生相談室は公認心理師2名で対応しており、1名が対面相談、1名がオンライン相談となっている。</p> <p>・保護者との連携については、年4回程度「保護者だより」を送っており、学生の学内での様子や課題などを報告している。また休みが多い学生などは保護者に連絡をし、状況の改善のため協力を仰いでいる。</p> <p>・卒業生の支援については同窓会組織である「くじら会」により研修会を企画・実施している。</p> <p>(教務部長：青木 耕)</p>
5-17-1	退学率の低減が図られているか	3	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4	
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2	
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	

6) 項目6：教育環境

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	<p>施設・設備・教育用具および防災組織に関しては、規定通りに整備している。海外研修については、コロナ禍で実施していなかったが、次年度より再開する予定で準備を進めている。</p> <p>(事務局長：斎藤智和)</p>
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	<p>全国的な18歳人口の減少、広報職員の退職等により、学生募集環境は厳しさを増している。地元(島根県西部)からの入学者は維持・増加傾向にあるが、県外からの入学者確保が非常に難しくなっており、近年は漢字圏からの留学生の確保に努めている。</p> <p>今後は教員を含めた学校全体での学生募集の取り組みを強化していきたい。</p> <p>(事務局長：斎藤智和)</p>
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	

8) 項目8:財務

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2	<p>大幅な定員割れの状態が続いており、中長期的な財務基盤は安定しているとは言えない。財務分析・予算策定・予算の執行管理・監査・情報公開については適切に運用されている。</p> <p>(事務局長：斎藤智和)</p>
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	

9) 項目9:法令等の遵守

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	<p>・自己評価は以前より実施していたが、令和4年度よりホームページにて公開を始めている。</p> <p>・学校関係者評価については、令和5年度より体制を整備し、実施している。実施した結果についてもホームページで公開している。</p> <p>(教務部長：青木 耕)</p>
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	

10) 項目10:社会貢献・地域貢献

	項目	自己評価	現状、課題、改善方策等
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	<p>従来から社会貢献、地域貢献には力を入れており、学生も教職員も、地域でのボランティア活動や講演活動等に積極的に関わっている。</p> <p>(教務部長：青木 耕)</p>
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	